

1. 教員および授業の概要

①教員名：久保田 典男（KUBOTA Norio）

②担当科目

- ・博士前期課程：地域開発政策専門講義 1 1（中小企業経営）、
地域開発政策研究指導 I～IV

③教員のプロフィール

1996年4月～2001年3月 中小企業金融公庫（現・日本政策金融公庫）入庫
中小企業向け長期資金の融資業務、企業審査業務に携わる。

2001年4月～2003年3月 財団法人国際金融情報センター研究員

2003年4月～2008年9月 中小企業金融公庫調査部（その後総合研究所）に
おいて中小企業研究に携わる。

2008年4月 中小企業診断士資格を取得（経済産業大臣登録）

2008年10月～2011年3月 日本政策金融公庫総合研究所主任研究員

2010年4月より法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科兼任講師

④所属学会

日本中小企業学会、組織学会、日本経営診断学会、日本地域政策学会、日本ベンチャー
学会、企業家研究フォーラム、中小企業研究国際協議会日本委員会（JICSB）

⑤研究領域や関心をもっているテーマ

- ・中小企業の革新（イノベーション）と承継（事業承継、技能承継）

⑥研究指導方針

地域産業振興には、その中心的な担い手である個々の中小企業が事業を拡大することが
必要であるという観点を中心に研究指導を行う。

研究テーマは、中小企業、地域産業に関連したものであること、研究方法としては、地
域産業や中小企業の現場に踏み込んだ事例研究の手法をとることが望ましい。

⑦指導可能な研究テーマ（あるいは過去（現在）に指導した研究テーマ）

- ・中小企業経営全般、地域産業振興

2. 研究業績リスト

（1）著書

- ・『北東アジアと地域交流－古代から現代、そして未来へ』（共著）国際書院、
2015年

- ・『地域再生と文系産学連携 ソーシャル・キャピタル形成に向けた実態と検証』
（共著）同友館、2014年
- ・『21世紀中小企業の発展過程』（共著）同友館、2012年
- ・『中小企業の国際化戦略』（共著）同友館、2012年
- ・『老舗学の教科書』（共著）同友館、2011年

（2）論文

- ・「事業承継に際しての社内人材のマネジメント-島根県における親族外承継・M&A・事業再生のケーススタディ-」『日本中小企業学会論集』、第38号、2019年7月
- ・「大学による地方中小企業の経営診断-地方小売業者におけるM&Aのケーススタディ」『日本経営診断学会論集』第17号、2019年
- ・「地方中小製造業者における生産設備の自社開発」『日本経営診断学会論集』第16号、2017年10月
- ・「地方中小企業における後継経営者の能力形成-地域金融機関における後継者育成塾のケーススタディ-」『日本中小企業学会論集』、第36号、2017年7月
- ・「大学による第三セクターの経営診断」『日本経営診断学会論集』第15号、2016年5月
- ・「水産商業施設を中核とした産業振興」『日本地域政策研究』、第12号、2014年3月
- ・「世代交代期の中小企業経営-次世代経営者の育成-」『日本中小企業学会論集』、第30号、2011年9月
- ・「事業承継に際しての組織改革-中企業の事業承継におけるケーススタディ-」『日本中小企業学会論集』、第28号、2011年5月
- ・「日本の中小製造業者の技能承継推進に向けた課題-中小鑄造業者の日独比較によるケーススタディから見えてくるもの-」『日本地域政策研究』、第8号、2010年3月
- ・「非親族承継における所有と経営の分離-中小企業の事業承継におけるケーススタディ-」『日本経営診断学会論集』、第9号、2010年2月
- ・「わが国中小製造業者のイノベーション創出-主力販売先とのコミュニケーションの変化と問題解決能力のシフト-」『日本中小企業学会論集』、第28号、2009年8月

3. 学生に対するメッセージ

私の専門は中小企業経営です。地域経済の中で地域産業は重要な位置づけを占めています。そして地域産業を支えているのは中小企業です。地域活性化のためには、個々の中小企業が事業を拡大することが必要であるというのが私のスタンスです。

中小企業向け政府系金融機関勤務時における中小企業向け長期資金の融資・審査で培った企業分析のノウハウをベースとした、中小企業の現場に密着したケーススタディを得意としています。